

社会福祉法人睦会定款

第一章 総 則

(目 的)

第一条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援し、併せて次代を担う児童が健やかに育成される地域づくりを行うことを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

- (イ) 特別養護老人ホームの経営
- (ロ) 養護老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

- (イ) 老人デイサービス事業の経営
- (ロ) 老人短期入所事業の経営
- (ハ) 老人介護支援センターの経営
- (ニ) 老人介護保健施設の経営
- (ホ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営
- (ヘ) 保育所の経営
- (ト) 老人居宅介護等事業の経営
- (チ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営
- (リ) 診療所の経営
- (ヌ) 放課後児童健全育成事業の経営
- (ル) 病児保育事業の経営

(名 称)

第二条 この法人は、社会福祉法人睦会という。

(経営の原則等)

第三条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

- 2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第四条 この法人の事務所を長野県長野市篠ノ井杵淵字新田前2 1 3 番地4に置く。

- 2 前項のほか、従たる事務所を長野県須坂市大字日滝字寺窪2 8 8 7 番地1に置く。

第二章 評議員

(評議員の定数)

第五条 この法人に評議員7名以上10名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第六条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事2名、事務局員2名、外部委員1名の合計5名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名が出席し、かつ、外部委員の1名が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第七条 社会福祉法第四〇条第四項及び第五項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第二五条の一七第六項第一号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることにはならない。

(評議員の任期)

第八条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第五条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退

任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第九条 評議員に対して、各年度の総額が340,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第三章 評議員会

(構成)

第一〇条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第一一条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 公益事業に関する重要な事項
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第一二条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第一三条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議

員会の招集を請求することができる。

(決議)

第一四条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第一六条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員(当該事項について議決に加わることができるものに限る。)の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第一五条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名がこれに記名押印する。

第四章 役員及び職員

(役員の数)

第一六条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上9名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長とする。なお、必要に応じて常務理事2名以内を置くことができる。

3 前項の副理事長をもって社会福祉法第四五条の一六第二項第二号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第一七条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長、副理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第一八条 社会福祉法第四四条第六項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第四四条第七項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第一九条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副理事長は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行し、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、副理事長を補佐する。

3 理事長及び副理事長は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第二〇条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第二一条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとすることができる。

3 理事又は監事は、第一六条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第二二条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第二三条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(職員)

第二四条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第五章 理事会

(構成)

第二五条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第二六条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長及び副理事長の選定及び解職

(招集)

第二七条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第二八条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第二九条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第六章 運営協議会

(運営協議会の設置)

第三〇条 この法人に、運営協議会を置くことができる。

(運営協議会の委員の定数)

第三一条 運営協議会の委員は4名以上6名以内とする。

(運営協議会の委員の選任)

第三二条 運営協議会の委員は、各号に掲げる者から理事長が選任する。

(1) 地域の代表者

(2) 利用者又は利用者の家族の代表者

(3) その他理事長が適当と認める者

(運営協議会の委員の定数の変更)

第三三条 法人が前々条に定める定数を変更しようとするときは、運営協議会の意見を聴かなければならない。

(意見の聴取)

第三四条 理事長は、必要に応じて、運営協議会から、地域や利用者の意見を聴取するものとする。

(その他)

第三五条 運営協議会については、この定款に定めのあるもののほか、別に定めるところによるものとする。

第七章 資産及び会計

(資産の区分)

第三六条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産の三種とする。

2 基本財産は次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 現金 200万円

- (2) 長野県長野市篠ノ井杵淵字新田前 213 番地 4、234 番地 1 所在の鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺 3 階建 1 階 635.91 m²、2 階 536.45 m²、3 階 40.95 m² 老人ホーム 1 棟。コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 20.35 m² ポンプ室。鉄骨造合金メッキ鋼板葺地下 1 階付 2 階建 1 階 765.02 m² 2 階 761.59 m² 地下 1 階 57.88 m² 特別養護老人ホームやすらぎの園園舎西館 1 棟。
- (3) 長野県長野市篠ノ井杵淵字新田前 213 番地 8、213 番地 3、213 番地 4、213 番地 15、213 番地 16、232 番地、234 番地 1 所在の鉄骨造陸屋根合金メッキ鋼板・かわらぶき 2 階建て 1 階 2,940.08 m² 2 階 2,308.07 m²。
特別養護老人ホームやすらぎの園園舎(ふれあい館、おふくろ館、東館、南館) 1 棟
- (4) 長野県長野市篠ノ井杵淵字北村 1043 番地 1 所在の木造かわらぶき 2 階建 1 階 236.60 m² 2 階 28.15 m² 小規模多機能型居宅介護事業所むつみ家ほのぼの 1 棟。木造瓦葺 2 階建倉庫 1 階 34.48 m² 2 階 34.48 m²。木造瓦葺平家建物置 29.81 m²。木造亜鉛メッキ鋼板葺 2 階建居宅 1 階 24.08 m² 2 階 14.88 m²。木造瓦葺平家建物置 16.56 m²
- (5) 長野県長野市松代町柴字中瀬 323 番地 1、324 番地 1、330 番地 1、330 番地 2、330 番地 3、330 番地 5 所在の鉄骨造かわらぶき 2 階建 1 階 1,007.27 m² 2 階 966.73 m²。小規模特別養護老人ホーム柴やすらぎの園園舎 1 棟
- (6) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,887 番地 1 同番地 1 先同番地 2、2,895 番地 1 所在の鉄骨・鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺 4 階建 1 階 1,145.65 m² 2 階 5,076.59 m² 3 階 1,187.36 m² 4 階 90.25 m²
特別養護老人ホーム須坂やすらぎの園及び介護老人保健施設須坂やすらぎの園園舎 1 棟
- (7) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,878 番地 1 所在の鉄筋コンクリート造合金メッキ鋼板葺 3 階建 1 階 941.31 m² 2 階 2,004.17 m² 3 階 53.40 m²
養護老人ホーム寿楽園園舎 1 棟
- (8) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2923 番地 1、2924 番地 1、2,931 番地 1 所在の鉄骨造かわらぶき平家建 614.97 m²
小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型老人共同生活援助事業 日滝の家 1 棟
- (9) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2881 番地 1 所在の鉄骨造かわらぶき平家建 249.18 m²
やすらぎクリニック須坂 1 棟
- (10) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2882 番地 1 所在の鉄骨造ガルバリウム鋼板一文字葺き 2 階建 1 階 235.92 m²、2 階 13.41 m² やすらぎふれあいセンター 1 棟
- (11) 長野県長野市篠ノ井杵淵新田前 213 番地 3 所在の特別養護老人ホームやすらぎの園敷地 (1,180.09 m²)
- (12) 長野県長野市篠ノ井杵淵新田前 213 番地 8 所在の特別養護老人ホームやすらぎの園敷地 (3,442.00 m²)

- (13) 長野県長野市篠ノ井杵淵字新田前 213 番地 14 所在の特別養護老人ホームやすらぎの園敷地 (54.48 m²)
 - (14) 長野県長野市篠ノ井杵淵新田前 232 番地 1 所在の特別養護老人ホームやすらぎの園敷地 (779.00 m²)
 - (15) 長野県長野市篠ノ井杵淵新田前 234 番地 1 所在の特別養護老人ホームやすらぎの園敷地 (2,835.27 m²)
 - (16) 長野県長野市篠ノ井杵淵字北村 1043 番地 1 所在の小規模多機能型居宅介護事業所むつみ家ほのぼの敷地 (1,276.75 m²)
 - (17) 長野県長野市篠ノ井杵淵字北村 1043 番地 2 所在の小規模多機能型居宅介護事業所むつみ家ほのぼの敷地 (63.00 m²)
 - (18) 長野県長野市篠ノ井杵淵字北村 1043 番地 3 所在の小規模多機能型居宅介護事業所むつみ家ほのぼの敷地 (300.00 m²)
 - (19) 長野県長野市松代町柴字中瀬 323 番地 1 所在の小規模特別養護老人ホーム柴やすらぎの園敷地 (1,003.90 m²)
 - (20) 長野県長野市松代町柴字中瀬 324 番地 1 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (323.33 m²)
 - (21) 長野県長野市松代町柴字中瀬 325 番地 1 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (583.00 m²)
 - (22) 長野県長野市松代町柴字中瀬 330 番地 1 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (656.59 m²)
 - (23) 長野県長野市松代町柴字中瀬 330 番地 2 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (505.76 m²)
 - (24) 長野県長野市松代町柴字中瀬 330 番地 3 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (224.62 m²)
 - (25) 長野県長野市松代町柴字中瀬 330 番地 5 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (35.84 m²)
 - (26) 長野県長野市松代町柴字中河原 337 番地 1 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (561.79 m²)
 - (27) 長野県長野市松代町柴字中河原 338 番地 4 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (160.00 m²)
 - (28) 長野県長野市松代町柴字中河原 339 番地 3 所在の同上柴やすらぎの園敷地 (66.00 m²)
 - (29) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,887 番地 1 所在の特別養護老人ホーム須坂やすらぎの園敷地 (5,105.65 m²)
 - (30) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,931 番地 2 所在の同上須坂やすらぎの園敷地 (161.01 m²)
 - (31) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,885 番地所在の同上須坂やすらぎの園敷地 (621 m²)
 - (32) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,887 番地 2 所在の介護老人保健施設須坂やすらぎの園敷地 (3,914 m²)
 - (33) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2,878 番地 1 所在の養護老人ホーム寿楽園敷地 (7,203 m²)
 - (34) 長野県須坂市大字日滝字寺窪 2884 番地 1 所在の養護老人ホーム寿楽園敷 (410 m²)
- 3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

- 4 公益事業用財産は、第四四条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第三七条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、長野県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、長野県知事の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第三八条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第三九条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第四〇条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類について

は、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、また、従たる事務所に3年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第四一条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第四二条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第四三条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認がなければならない。

第八章 公益を目的とする事業

(種別)

第四四条 この法人は、社会福祉法第二六条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 長野県介護職員初任者研修
- (3) 介護福祉士実務者研修
- (4) 喀痰吸引等研修事業

2 前項の事業に関する重要な事項については、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

第九章 解散

(解散)

第四五条 この法人は、社会福祉法第四六条第一項第一号及び第三号から第六号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第四六条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第四七条 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数（現在数）の3分の2以上の承認を要する。

第一〇章 定款の変更

(定款の変更)

第四八条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、長野県知事の認可（社会福祉法第四五条の三六第二項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を長野県知事に届け出なければならない。

第十一章 公告の方法その他

(公告の方法)

第四九条 この法人の公告は、社会福祉法人睦会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第五〇条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、

この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

| | |
|-------|-----------|
| 理 事 長 | 三 井 篤 敏 |
| 理 事 | 大 日 方 貞 猪 |
| 理 事 | 倉 石 文 雄 |
| 理 事 | 中 澤 有 寿 |
| 理 事 | 土 屋 敦 博 |
| 理 事 | 新 井 千 広 |
| 理 事 | 金 沢 久 義 |
| 理 事 | 徳 武 博 |
| 理 事 | 樋 田 敏 |
| 理 事 | 松 林 好 助 |
| 理 事 | 若 林 重 雄 |
| 監 事 | 鹿 熊 肇 |
| 監 事 | 三 ッ 井 次 郎 |

| | | |
|-------|--------|--------|
| 昭和52年 | 9月28日 | (認 可) |
| 昭和56年 | 1月31日 | (一部改正) |
| 昭和61年 | 12月 9日 | (一部改正) |
| 平成 5年 | 6月22日 | (一部改正) |
| 平成 6年 | 12月14日 | (一部改正) |
| 平成 9年 | 3月24日 | (一部改正) |
| 平成10年 | 1月24日 | (一部改正) |
| 平成10年 | 4月 1日 | (一部改正) |
| 平成11年 | 11月29日 | (一部改正) |
| 平成12年 | 3月14日 | (一部改正) |
| 平成12年 | 12月12日 | (一部改正) |
| 平成13年 | 2月26日 | (一部改正) |
| 平成13年 | 12月20日 | (全面改正) |
| 平成14年 | 4月 4日 | (一部改正) |
| 平成15年 | 5月 2日 | (一部改正) |
| 平成16年 | 5月20日 | (一部改正) |
| 平成16年 | 10月20日 | (一部改正) |
| 平成17年 | 5月11日 | (一部改正) |
| 平成18年 | 3月28日 | (一部改正) |
| 平成18年 | 8月 9日 | (一部改正) |
| 平成19年 | 6月28日 | (一部改正) |

平成22年10月21日（一部改正）

平成23年 5月29日（一部改正）

平成24年 5月28日（一部改正）

平成25年 3月27日（一部改正）

平成27年 3月27日（一部改正）

平成27年 5月27日（一部改正）

平成28年 4月 5日（一部改正）

平成29年 1月17日（一部改正）

平成29年 1月23日（改正）

（この定款は、平成29年4月1日から施行する。）

平成29年 5月 9日（一部改正）

平成29年 8月 1日（一部改正）

平成31年 1月31日（一部改正）